

### 1 地区内市民及び事業者意識調査

#### (1) 調査概要

##### 1) 目的

- ・当該地区に居住している市民及び事業を営んでいる事業者に対して、該当者の視点での意見を集約し、枚方市駅周辺のまちづくりに反映するためアンケート調査を実施した。

##### 2) アンケート調査実施期間及び回収数

###### ①市民アンケート調査

- 調査実施期間…平成 22 年 12 月 7 日～平成 22 年 12 月 17 日
- 回収数…174 票/600 票（回収率：29%）

###### ②事業者市民アンケート調査

- 調査実施期間…平成 22 年 12 月 7 日～平成 22 年 12 月 17 日（一部平成 22 年 12 月 27 日まで延期）
- 回収数…82 票/300 票（回収率：27.3%）

#### (2) 市民及び事業者の意識調査結果

##### 1) 枚方市駅周辺の施設や環境について

- ・市民、事業者とも「医療や福祉施設の充実度」についての満足度は高い。また、市民では、「商業施設の充実度」「公共施設の充実度」など、生活サービス施設に対する満足度が高い。
- ・逆に不満度が高いものとしては、市民、事業者とも「娯楽施設の充実度」「まちの安全や防犯」「駅前としての景観の美しさ」をあげている。
- ・その内、市民の約 45%が「まちの安全や防犯」に対して、事業者の約 45%が「駅前としての景観の美しさ」に不満を持っており、これらの改善がまちの活性化につながっていくものと考えられる。

##### 2) 枚方市駅周辺の交通状況について

- ・市民、事業者とも「公共交通の乗り換えの利便性」についての満足度は高い。また、市民では、「徒歩での通行のしやすさ」に対する満足度が比較的高い。
- ・それ以外の項目については、満足度は低く不満度が比較的高くなっている。
- ・その内、事業者では、「自動車の通行のしやすさ」や「駐車場の充実度」など自動車に関する整備の不満度が高いことから、これらの改善が必要であると考えられる。
- ・北口、南口別にみると、市民はほぼ同じような回答率であり、事業者で駐車場の充実度に対して南口が若干満足度は高くなっているが、それ以外の項目についてはほぼ同じような回答率である。

### 3) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な施設について

- ・市民、事業者とも「映画館や劇場などの娯楽施設」が最も回答数が多く、また市民では「図書館やホールなどの文化施設」に対する回答数も多く、前問の「娯楽施設の充実度」に対する不満度が高かったことから見ても、娯楽施設など余暇を過ごせる施設の整備が望まれていることがわかる。
- ・市民では、「日用品以外を扱う店」など商業施設の整備の回答が多いが、市民、事業者とも「空き店舗の活用や既存店舗のリニューアル」に対する回答が多いことを見ると、既存店舗等を活用した商業施設の活性化が求められていると考えられる。

### 4) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な環境整備（道路・公園等）について

- ・市民、事業者とも「道路の新設や拡幅」「歩行者専用道路等の整備」「自転車通行環境の整備」の回答数が多く、歩行者、自転車、自動車交通を分離した通行区分の整備が望まれているものと考えられる。また、「駅前広場の拡充」についても、市民、事業者とも回答数が多く、現状の駅前広場整備が望まれているものと考えられる。
- ・その他、「駅前の美しい景観整備」が市民、事業者とも回答数が多く、前問の「駅前としての景観の美しさ」に対する不満度が高かったことから見ても、駅周辺の景観形成が望まれているものと考えられる。

### 5) 買い物や娯楽などでよく行く場所及び事業を行うのに魅力がある場所について

- ・市民では、「枚方市駅周辺」が最も多く、約6割の人が回答しているが、残りの4割は他の場所へ買い物や娯楽へ出かけていることになり、これらの人の購買力を枚方市駅周辺へ呼び戻すことが当該地区の活性化につながると考えられる。
- ・事業者では「枚方市駅周辺」が最も多いが、回答率は3割以下となっており、事業者に対しての地区の魅力を高めることが、来訪者（利用者）に対しても訪れる機会を増やすことになり、当該地区の活性化につながるものと考えられる。

### 6) 当該地区へ訪れる頻度

- ・平日、休日とも「ほとんど毎日」が最も多く、生活の一部として当該地区を利用されている方が多いと考えられる。また、平日は、「月5～10回」をあわせると回答率が半数以上となることから、仕事や学校などで利用している人が休日も訪れていることが多いと考えられる。
- ・休日は、「月1回程度」などたまに訪れている人が3割程度となっていることから、これらの人の利用頻度を上げることが来訪者数を上げることににつながると考えられる。

### 7) 当該地区での滞在時間

- ・平日は、「30分～2時間」が約半数となっており、用事を済ませるとすぐに帰る人が多いと考えられる。
- ・休日は、「30分未満」が2割以上となっており、公共交通の乗り換えなどの利用者が比較的多いことが考えられる。
- ・これらの状況から、乗り換えなどの利用者や滞在時間が短い来訪者が長い時間滞在できるような施設の充実を図ることが、当該地区の活性化につながると考えられる。

#### 8) 当該地区周辺の風景やまちなみなどの魅力

- ・平日、休日とも「魅力を少々感じている」をあわせると魅力を感じている人は、半数程度となっている。
- ・一方、「魅力を感じない」は平日ほど回答率が高く、訪れる頻度が多いと考えられる平日利用者ほど魅力を感じていない状況である。また、休日で「わからない」が多いのは、たまにしか来ない人や初めての来訪者が多いからであると考えられる。
- ・これらの状況から、当該地区周辺の魅力を上げることが来訪者数を上げることに繋がると考えられる。

#### 9) 買い物でよく行く場所

- ・平日は「枚方市駅周辺」が最も多いが、「樟葉駅周辺」や「大阪市内」をあわせると 3 割程度となっており、仕事や学校がない休日は、枚方市駅周辺以外で買い物していることが比較的多いと考えられる。
- ・休日で「枚方市駅周辺」が半数以上を超えているのは、買い物を目的として当該地区を訪れている人が多いことからであると考えられる。
- ・これらの状況から、大阪市内など他市への購買層を呼び戻すことはもとより、現在買い物の目的先を当該地区としている人の数を減らさないことが必要であると考えられる。

## 2 来訪者意識調査

### (1) 調査の概要

#### 1) 目的

- ・市民、事業者アンケートとあわせて、枚方市駅周辺への来訪者の認識を把握するためヒアリング形式にてアンケート調査を実施した。

#### 2) ヒアリング調査実施時期及びヒアリング数

- ヒアリング調査実施日…平日：平成 22 年 12 月 3 日～平成 22 年 12 月 14 日  
休日：平成 22 年 12 月 5 日（日）および 12 月 11 日（土）
- ヒアリング調査数…平日：404 票、休日：403 票

### (2) 来訪者意識調査結果

#### 1) ここへ来た目的

- ・平日、休日とも「買い物・飲食」を目的とする人が多く、休日は回答者の約 4 割が「買い物・飲食」を目的としている。
- ・平日は、「市役所などの行政施設」を訪れる人や「仕事」、「病院」を目的とする人が比較的多い。
- ・平日、休日とも、散歩などのレクリエーションを目的で訪れる人が比較的多い。また、乗り換えのみで利用している人も比較的多い。
- ・その他の目的としては、平日は銀行やハローワークなどが多く、休日は通学が多い。

#### 2) 目的の施設

- ・平日、休日とも、「サティ」や「近鉄百貨店」及び周辺の商業施設を訪れる人が多い。枚方市駅周辺の店舗は点在しており、特に「サティ」と「近鉄百貨店」は離れていることから、中間にある「京阪百貨店」を含めた「サティ」～「近鉄百貨店」間の歩行者動線確立できる可能性があることが考えられる。
- ・平日は、市役所やハローワークなどの行政施設や、関西医科大学附属枚方病院やその他の病院などの医療施設を訪れる人が比較的多い。
- ・その他としては、会社関係（仕事）などが多いが、乗り換え及び自宅へ帰るなど枚方市駅周辺の施設を目的にしていない人も比較的多い。

#### 3) 来訪者の居住先及び家から当該地区までの交通手段

- ・来訪者の居住先は、平日、休日とも枚方市内が 7 割以上を占めており、隣接市の「寝屋川市」「交野市」「高槻市」をあわせると 8 割以上となっている。
- ・利用する交通手段は、平日、休日とも「電車」「バス」の公共交通利用者が多く、全体の半数近くをしめている。特にバス利用者は全体の 2 割以上をしめており、近郊からの利用者が比較的多いことが考えられる。いっぽう自家用車は平日、休日とも全体の 1 割程度であり、この状況を見ても公共交通での利用者が多いことが考えられる。
- ・休日は、「徒歩」や「自転車」が多く、周辺からの利用者が多い。

- ・これらの状況から、当該地区は周辺や近郊に居住しているなど比較的狭いエリアでの利用者が多いことから、公共交通の利便性の向上や、駐輪場の整備やベンチの設置など、自転車や徒歩で訪れる人への施設整備が、当該地区への利用頻度を上げることにつながると考えられる。

### 3 市政モニター※意識調査

#### (1) 調査の概要

##### 1) 目的

- ・枚方市周辺地域から枚方市駅周辺についての市民の認識を把握するため、市政モニター登録者を対象としアンケート調査を実施した。

##### 2) アンケート調査実施期間及び回収数

- 調査実施期間…平成 22 年 12 月 10 日～平成 22 年 12 月 27 日
- 市政モニターアンケート調査…公募市民 251 名
- 回収数…144 票（回収率 57.3%）

#### (2) 市政モニター意識調査結果

##### 1) 当該地区へ来る目的

- ・「買い物・飲食」を目的とする人が多く、当該地域に商業的な需要があることが伺える。
- ・次いで、市役所などの官公庁や市民会館などの文化施設となっており、公共施設を利用する目的性が高い。
- ・また、電車やバスなどの公共交通に乗るための人が比較的多いことから、これらの人に対して、公共施設への乗り換えだけでなく、店舗や飲食店などを利用してもらえるような魅力ある商業地づくりが必要である。

##### 2) 施設や環境について

- ・「商業施設の充実度」や「医療や福祉施設の充実度」、「公共施設の充実度」など、生活サービス施設に対する満足度が高い。
- ・逆に、満足度が高かった「商業施設の充実度」は不満度も高く、不満度が高い「娯楽施設の充実度」とあわせ、商業系施設の充実に対する不満度が高い。
- ・また、「駅前としての景観の美しさ」や「樹木や花などの緑の美しさ」など景観に対する不満度が高く、これらの改善がまちの活性化につながっていくものと考えられる。

##### 3) 「南口」「北口」周辺交通の状況

- ・満足度が高いのは、「公共交通の乗り換えの利便性」についてのみであり、それ以外の項目については、満足度は低く不満度が比較的高くなっている。
- ・その内、「自動車の通行のしやすさ」や「駐車場の充実度」など、自動車に関する整備の不満度が高く、また、「自転車での通行のしやすさ」や「駐輪場の充実度」など、自転車に関する整備の不満度も高いことから、これらの改善が必要であると考えられる。

##### 4) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な施設

- ・「空き店舗の活用や既存店舗のリニューアル」に対する回答が最も多いことを見ると、既存店舗等を活用した商業施設の活性化が求められていると考えられる。

- ・次いで、「映画館や劇場などの娯楽施設」、「図書館やホールなどの文化施設」の回答数が多く、前問の「娯楽施設の充実度」に対する不満度が高かったことから見ても、娯楽施設など余暇を過ごせる施設の整備が望まれていることがわかる。

#### 5) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な環境整備（道路・公園など）

- ・「駅前ロータリーの拡充」が最も回答が多く、「駅前広場の自動車での通行のしやすさ」の不満度が高いところから見ても、駅前広場の整備が望まれていることが分かる。
- ・次いで、「歩行者専用道路等の整備」「道路の新設や拡幅」「自転車通行環境の整備」などの回答数も多く、歩行者、自転車、自動車交通を分離した通行区分の整備が望まれているものと考えられる。
- ・その他では、「駅前の美しい景観整備」の回答数も多く、前問の「駅前としての景観の美しさ」に対する不満度が高かったことから見ても、駅周辺の景観形成が望まれているものと考えられる。

#### 6) 買い物や娯楽などでよく行く場所

- ・「枚方市駅周辺」より「樟葉駅周辺」の回答率が高くなっており、枚方市内で見ると樟葉駅周辺の方が、商業需要が高いことが伺える。
- ・ただし、「枚方市駅周辺」と「樟葉駅周辺」をあわせると61.2%となり、6割以上が枚方市内で買い物などを行っている。
- ・他の地域としては、「大阪市内」が16.8%となっており、大阪市内など他市への購買層を呼び戻すことはもとより、現在買い物の目的先を当該地区としている人の数を減らさないことが必要であると考えられる。